

平成29年度 東京都 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(2学年対象)

◇各教科の調査結果(正答率)

教科	A 教科の内容			B 読み解く力に関する内容			AとBの合計		
	瑞江三	江戸川区	東京都	瑞江三	江戸川区	東京都	瑞江三	江戸川区	東京都
国語	73.1	71.5	73.1	71.0	70.5	72.4	72.8	71.4	73.0
社会	51.2	55.6	56.6	50.7	53.7	54.9	51.1	55.1	56.2
数学	55.1	57.3	60.2	34.9	33.1	35.3	48.8	50.6	53.3
理科	56.8	55.9	57.2	50.6	52.6	54.6	55.4	55.2	56.6
英語	64.1	59.4	65.3	63.0	61.2	63.7	63.8	59.8	65.0

考察

- (1) 各教科の平均値は東京都より少し下回るものの、総合して江戸川区の平均より上回っていると言える。
- (2) 今回は教科による差が少し出た。(国語、理科、英語は区平均より上で都に近く、社会、数学は区平均より少し低い)
- (3) 今後の具体的な方策として
 - ①「授業のめあて」を絞りながら、授業の流れを明確にし、「わかった」「できた」が実感できる授業を展開する。
 - ②生徒の理解度を把握しながら、反復練習など基礎的学力とそれを活用する能力を身に付けさせる。
 - ③視覚的教材等を活用し理解を深めると同時に、一方的な理解ではなく多角的な思考ができるように工夫する。
 - ④生徒が自ら考え判断し、まとめて発表する機会を多くつくり、人前でも臆せず自分の意見を述べられるようにする。
 - ⑤小中の連携を図りながら、いつまでに何を学習し理解するという目標を掲げ、小中全体として取り組んで行く。
 - ⑥保護者の理解を得ながら生徒の家庭生活リズムを整え、家庭での学習習慣が身に付くように協力を得る。